

\*\*\*\*\*

# 第20回記念

# 「現代短歌新人賞」開催要項

\*\*\*\*\*

- 1 目的 日本現代短歌界の振興と、さいたま市民の文学活動の充実を図るために、歌壇に新風をもたらす者を表彰し、新人歌人の発掘・支援を行う。
- 2 主催 さいたま市／さいたま市教育委員会
- 3 協賛 文化出版局 月刊誌「ミセス」
- 4 後援 文化庁／埼玉県／埼玉県教育委員会
- 5 対象 平成30年10月1日から令和元年9月30日までに刊行された、原則として第一歌集とします。なお、「第一歌集」は原則であって、第二、第三歌集が必ずしも対象外という趣旨ではありません。
- 6 選考 有識者（歌人等約180名）を対象としたアンケートを行い、多くの推薦を受けた歌集及び選考委員が推薦する歌集を併せて、令和元年12月1日（日）開催の選考会にて決定します。
- 7 選考委員 選考委員会設置要綱に基づき委嘱します。  
第20回については5名で組織し、選考を行います。  
・中村 <sup>なかむら</sup> 稔 <sup>みのる</sup> 氏（詩人）、篠 <sup>しの</sup> 弘 <sup>ひろし</sup> 氏（歌人）、小池 <sup>こいけ</sup> 光 <sup>ひかる</sup> 氏（歌人）、  
栗木 <sup>くりき</sup> 京子 <sup>きょうこ</sup> 氏（歌人）、米川 <sup>よなかわ</sup> 千嘉子 <sup>ちかこ</sup> 氏
- 8 発表 市報「さいたま」及び市ホームページに選考結果を掲載します。また、文化出版局刊行 月刊誌「ミセス」3月号（令和2年2月発行予定）にも掲載を予定しています。
- 9 賞 現代短歌新人賞1名（正賞）表彰状（副賞）賞金50万円  
（記念品）さいたま市、文化出版局贈呈

## ■10 表彰式・記念対談及びレセプション

- ◆ 開催日時：令和2年3月8日（日）午後1時開会
- ◆ 会場：大宮ソニックシティビル4階「市民ホール」（JR大宮駅西口）
- ◆ 記念対談：中村稔氏、馬場あき子氏「大西民子を語る」

～戦後を代表するさいたま市の歌人、その軌跡を辿る～

【事務局】 さいたま市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課 管理係

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 電話 048-829-1705 Fax 048-829-1989

Eメール [shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp](mailto:shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp)

※ さいたま市教育委員会では、「未来に向かって、のびのび夢と言葉をつむぐ」をコンセプトに、さいたま市民の文学活動の振興と充実を図るため、「現代短歌新人賞」、「さいたま子ども短歌賞」、「さいたま短歌フォーラム」の3つの事業を関連付け、「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業 ～Saitama “Tanka” Promotion Project (STPP)～」として展開しています。